

令和4年度

文化芸術による子供育成推進事業  
ユニバーサル公演事業  
実施団体募集要領

令和4年6月

文化庁参事官（芸術文化担当）付  
学校芸術教育室芸術教育推進係

# 目 次

I	令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業ユニバーサル公演事業」 実施団体募集概要 . . .	P.1.~P.6
II	令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業ユニバーサル公演事業」 申請について . . .	P.7~P.9
III	令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業ユニバーサル公演事業」 出演希望調書 . . .	P.10~P.21

















## 5. 審査について

① 審査は全分野共通で行います。

### ② 審査事項

出演希望調書の内容や実績を総合的に評価して芸術団体を決定しますが、特に以下の点は重要となります。

- \* 実施に当たり必要な体制が整っているか。
- \* 企画提案書に記載された事業の趣旨・目的が、ユニバーサル公演事業の目的に沿ったものであること。
- \* 高い教育効果を見込むことができる優れた企画内容のものであるか。
- \* 内容に即した適正な水準の事業費であるか。(内容に比して安価な企画を高く評価します)

## 6. 審査結果について

審査結果は、採択・不採択にかかわらず、申請のあった団体に対し、令和4年7月中旬頃までを目途にお知らせします。応募団体から電話による問い合わせがありますが、電話による問い合わせには応じないこととしております。

## 7. 問合せ先（文化庁ではありませんので御注意ください。）

〒163-0236

東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル36階

近畿日本ツーリスト株式会社 公務営業支店内

文化芸術による子供育成推進事業事務局

ユニバーサル公演事業係

TEL：0570-064-203

(10:00~17:00)

E mail：uni-kodomogeijutsu@gp.knt.co.jp

令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」  
出演希望調書 No.1 (共有)

制作団体名	
公演団体名	

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇, その他( )
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル, ノンバーバルその他( )
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊, その他( )
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸, その他( )
【美術】	洋画, 日本画, 版画, 彫刻, 書, 写真, その他( )
【メディア芸術】	映像, メディアアート等, その他( )

取り組み (該当する取り組みに○を付してください。)

該当	取り組み
	①障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
	②字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、アーティストが抱える障がいの種類

--

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分 (該当する区分に○を付してください。)

該当	区分
	《D 区分》公演をメインプログラムとする企画
	《E 区分》ワークショップを中心とする企画 ※ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間等 (原則として令和4年9月1日～2月28日まで)

可能期間	
連日公演の可否	可 / 不可

実施可能地域(実施可能な地域又は都道府県名の前に○を付してください。)

地域	都道府県
限定なし	
北海道	北海道
東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
南関東	埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
北関東・甲信	茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野
北陸	新潟, 富山, 石川, 福井
東海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重
近畿	滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知
九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

#### 団体の概要

##### 【制作団体について】

ふりがな 制作団体名			
代表者職・氏名			
制作団体所在地	〒		
制作団体 設立年月	年 月	団体構成員及び加入条件等	
制作団体 組織	役 職 員		
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	Web サイト等 URL	
本事業担当者		本件連絡先	電話番号 メールアドレス
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	

##### 【公演団体について】

ふりがな 公演団体名			
代表者職・氏名			
Web サイト等 URL			

<p>特別支援学校等 における活動実 績や障がいを持 ったアーティスト の活動を拡げる 公演等の活動実 績</p>	
---	--

令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」出演希望調書 No.2

《D 区分》公演をメインプログラムとする企画用

【制作団体名

】

企画名		
主な対象学年		
児童・生徒の鑑賞・ 体験可能人数の目安	ワークショップ	
	本公演	
企画の動画等の資料	URL	PW

公演について

主な演目  原作／作曲 脚本 演出／振付等	※公演演目について複数の選択肢がある場合は、演目毎に別の企画として御応募ください。				公演時間( 分)
	著作権	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無	
演目概要					
公演従事予定者 の編成 (1公演あたり)					
公演に当たり 必要な会場条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台の設置場所 ( 教室 ・ 体育館 )</li> <li>・舞台に必要な広さ</li> <li>・電源容量(主幹ブレーカー容量)      A</li> <li>・暗転の要否( 要 ・ 不要 )</li> <li>・その他</li> </ul>				
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の 目安	前日仕込み( 有 ・ 無 ) 会場設営の所要時間( 時間程度 )				
	到着 時	仕込み 時～ 時	本公演 時～ 時	内休憩 分	撤去 時～ 時
派遣について	移動方法の制約等	従事者の身体上の都合による要配慮事項等があれば記載をお願いします。			
	運搬規模	2 トントラック 2 台等、運搬する荷物の総量が分かる形で記載してください。			

ワークショップについて

ワークショップ	<p>(内容)</p> <p>※ワークショップの回数や実施時期についても記載をお願いします。</p> <p>※複数の選択肢がある場合はAプラン, Bプランのようにプラン毎に概要(内容・体制・目的とする効果)を示してください。</p> <p>例) 実施時期 :公演の1か月前～1週間前に2回</p> <p>内容1回目: 当日全員参加での合奏(セッション)へ向けた「自分の好きな音」探し                  ~~~~~</p> <p>内容2回目: 当日全員参加での合奏(セッション)へ向けた「リズム」探しと練習                  ~~~~~</p>
	<p>(体制)</p>
	<p>(目的とする効果)</p>

企画全体について

企画のねらい	
特別支援学校等での実施における工夫等	
取り組み②で応募する場合、特に重点的に課題解決に取り組んできた課題(障がい)	
協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等	

令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」出演希望調書 No.2

《E区分》ワークショップを中心とする企画用

【制作団体名

】

企画名		
主な対象学年		
企画の動画等の資料	URL	PW

ワークショップ全体

構成	必ず5回のワークショップを設定しなければならないという事 ではありません。企画の主旨に合わせて基本の実施回数を設定し てください。				
各回ごとの受け 入れ可能人数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目

各回ごとの詳細

1回目		
実施内容		
目標とする効果		
概要	指導者の編成と役割	実施時間

2回目		
実施内容		
目標とする効果		
概要	指導者の編成と役割	実施時間

3回目		
実施内容		
目標とする効果		
概要	指導者の編成と役割	実施時間

4回目		
実施内容		
目標とする効果		
概要	指導者の編成と役割	実施時間

5回目		
実施内容		
目標とする効果		
概要	指導者の編成と役割	実施時間

企画全体について

<p>企画のねらい</p>	
<p>特別支援学校等での実施における工夫等</p>	
<p>取り組み②で応募する場合、特に重点的に課題解決に取り組んできた課題(障がい)</p>	
<p>協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等</p>	

出演希望調書No.3

積算にあたっては、旅費・運搬費を除き公演本体に係る費用を記載してください。

費用明細【10公演当たりの経費】

※1

【公演団体名 〇〇〇オーケストラ】

単位:円

項目	費目	数量		単価 (税込)	公演回数	金額	備考
		数値	単位				
(D区分) 出演費	指揮料	1	人	110,000	10	1,100,000	
	演奏料	4	人	38,500	10	1,540,000	
	ソリスト出演料	4	人	66,000	10	2,640,000	
(E区分) ワークショップ 指導料	合唱料	12	人	49,500	10	5,940,000	
						0	
				※1	出演費合計	11,220,000	※2
文芸費	※4 演出使用料	1	式	200,000	/	200,000	※4 演目「〇〇」
	脚本使用料	1	式	100,000	/	100,000	※4 〇〇 〇〇氏
	振付料	1	式	30,000	/	30,000	※生徒参加箇所の生徒に対する振付け
	音響プラン料	1	st	10,000	10	100,000	※各校毎の音響プラン
	※5 打合せ人件費	3	時間	15,000	10	450,000	
					文芸費合計	880,000	
音楽費	楽器使用料	1	回	300,000	10	3,000,000	
	音楽著作権使用料	1	式	24,000	10	240,000	曲目〇〇他4曲について発生。
						0	※1
					音楽費合計	3,240,000	
舞台費	※3 大道具借損費	1	st	200,000	10	2,000,000	
	舞台監督人件費	1	人	30,000	10	300,000	
	大道具スタッフ費	4	人	20,000	10	800,000	
	音響スタッフ費	1	人	20,000	10	200,000	※団体の音響機材を使用するが操作は外部に依頼。
	※6 照明スタッフ費	3	人	20,000	10	600,000	※7
	照明費(機材レンタル)	1	週間	150,000	2	300,000	
					舞台費合計	4,200,000	
					出演費～舞台費 小計	19,540,000	
(D区分のみ) ワークショップ 指導料	※8 主指導者	1	人	35,650	20	713,000	1校標準2回を想定
	補助者	1	人	10,400	20	208,000	※必要な場合、通常スタッフにかわり、手話対応スタッフが対応。通常補助者の場合は上記1名と同様に@5200*2Hで対応
	手話対応スタッフ	2	人	17,600	20	704,000	
					ワークショップ 小計	1,625,000	
					10公演当たり総合計	21,165,000	

ユニバーサル対応等に係る経費	※9 ipad借用	5	台	16,500	/	82,500	*障がいの程度等により、教室で鑑賞する生徒がいる場合の対応経費。本公演をモニターで鑑賞するとともに、〇〇大学との共同研究を行っている〇〇ロボット(振動型音楽鑑賞システム)を用い、会場に行くことができなくても、鑑賞するだけでなく、生徒が参加できる工夫の一環として用いる。
	〇〇ロボット借用費用	1	式	350,000	/	385,000	
						0	
					その他経費 小計	467,500	

【この希望調書に関する問い合わせ先】

担当者	
電話番号	必ず記入してください。
E-mail	

重要事項ですので、必ず御一読の上、公演費用明細を作成してください。

## D区分記入例

### 【記入に当たっての留意事項】

#### ＜費用明細全体について＞

※10公演実施する場合の公演経費を記載してください。

ただし、採択した場合の公演回数・公演費用等を保証するものではありません。

※金額欄には税込(税率10%)の金額を記入してください。

※申請時に費目として計上がない経費を、採択後新たに計上することはできません。派遣費(旅費、運搬費)を除き、発生する可能性がある経費については、現時点で見積等が取得できない場合も、過去の実績等から単価を想定し、費用明細に必ず金額を記載してください。

※すべての学校の公演について係る基本経費以外に発生する見込みがある経費については該当する項目内へ記載し、学校の状況によっては生じる可能性がある経費は、「ユニバーサル対応等に係る経費」の欄へ必ず金額を記載してください。

※水色の欄には計算式が設定されていますので入力しないでください。

※欄が不足する場合は行を挿入してください。

#### ＜数量の記載について＞

※公演回数により増減しない費目については一式で計上してください。また一式で費目を計上した場合は公演回数欄は斜線を引いてください。 (※1)

#### ＜出演料について＞

※原則として、採択後の経費の増額及び減額による他の経費への流用については認めません。 (※2)

#### ＜文芸費について＞

※演出、演出助手、舞台監督、舞台監督助手等について役務費に当たる経費を計上する場合は、舞台費に計上してください。 (※3)

※各費目の申請に当たっては、一部改変に伴い生じる費用なのか、すでに発生している権利に対して生じる使用料なのかが分かる形で記載してください。また、備考欄へ対象内容を記載してください。 (※4)

※事前打ち合わせ経費については文芸費に計上してください。 (※5)

#### ＜舞台費について＞

※可能な限り道具費(機材)使用料と人件費を分けてください。 (※6)

※計上単位は一式とせず、1公演分あたりに割り戻した金額を記載してください。 (※7)

※移動・運搬に係る経費については、採択後別途「派遣費」としてお見積りいただきます。移動運搬に係る経費は含めずに計上してください。

#### ＜ワークショップ指導料について＞

※主指導者は1名のみ、補助者は必要に応じて人数を工夫してください。(特に5名を超える場合は希望調書内に役割を明記してください。)支給対象は指導時間となります。準備や片付けの時間は含みません。 (※8)

#### ＜ユニバーサル対応等に係る経費について＞

※上記の費目に区分することができない経費で、企画の特殊性により生じる経費について記載してください。

どの学校で実施するにあたっても必要な経費は、上の10公演を行った場合を想定した表に計上し、学校や対象の生徒の状況により別途必要となる可能性のある経費については、「ユニバーサル対応等に係る経費」に計上してください。

「ユニバーサル対応等に係る経費」を計上する場合は、どのようなケースにおいてどのような単位で必要になる経費なのかを明確にお示しください。

計上の可否については審査により判断しますので、結果通知後に、別途お知らせします。 (※9)

出演希望調書No.3

積算にあたっては、旅費・運搬費を除き公演本体に係る費用を記載してください。

費用明細【10公演当たりの経費】

※1

【公演団体名 〇〇〇合奏団】

単位:円

項目	費目	数量		単価 (税込)	公演回数	金額	備考
		数値	単位				
(D区分) 出演費	主指導者	1	人	35,650	30	1,069,500	フォローアップWS】1校当たり3回を想定
	補助者	3	人	15,600	30	1,404,000	〃
	演奏料	6	人	44,000	10	2,640,000	【メインWS】時の出演料
(E区分) ワークショップ 指導料等	演奏者	4	人	39,600	10	1,584,000	〃
						0	
指導料合計						6,697,500	※2
※3 文芸費	プログラムデータ作成料	1	式	35,000	30	35,000	※1
	打合せ人件費	1	時間	1,500	30	45,000	現地打ち合わせ 1校1回～3回を想定
						0	※4
文芸費合計						80,000	
音楽費	音楽著作権使用料	1	式	24,000	10	240,000	曲目〇〇他4曲について発生。
						0	
						0	
音楽費合計						240,000	
※6 ※5 舞台費	WS楽器借用費	1	st	55,000	20	1,100,000	WS 2回目3回目に生徒が使うドラム
	音響スタッフ費	1	人	16,500	10	165,000	※7
	音響機材レンタル費	1	式	66,000	10	660,000	メインホール(ミニコンサート)用
	WS消耗品	1	式	20,000	10	200,000	購入予定内訳別紙
						0	
舞台費合計						2,125,000	
出演費～舞台費 小計						9,142,500	
(D区分のみ) ワークショップ 指導料	※8					0	
						0	
						0	
ワークショップ 小計						0	
10公演当たり総合計						9,142,500	

ユニバーサル対応等に係る経費	点字楽譜作成料	1	種	44,000		44,000	■視覚障がいを持った生徒がいる場合、や学校から希望がある場合、学校全体で点字楽譜を使って1回目のワークショップを行う。 ■聴覚障がいを持った生徒や希望する生徒がいる場合、音を色や形で可視化する
	〇〇アプリ使用料	1	式	2,640	1人	2,640	
	ipad 借用料	1	台	15,000	1人	15,000	
						0	

※9

【この希望調書に関する問い合わせ先】

担当者	
電話番号	必ず記入してください。
E-mail	

重要事項ですので、必ず御一読の上、公演費用明細を作成してください。

## E区分記入例

### 【記入に当たっての留意事項】

#### ＜費用明細全体について＞

※10公演実施する場合の公演経費を記載してください。

ただし、採択した場合の公演回数・公演費用等を保証するものではありません。

※金額欄には税込(税率10%)の金額を記入してください。

※申請時に費目として計上がない経費を、採択後新たに計上することはできません。派遣費(旅費、運搬費)を除き、発生する可能性がある経費については、現時点で見積等が取得できない場合も、過去の実績等から単価を想定し、費用明細に必ず金額を記載してください。

※すべての学校の公演について係る基本経費以外に発生する見込みがある経費については該当する項目内へ記載し、学校の状況によっては生じる可能性がある経費は、「ユニバーサル対応等に係る経費」の欄へ必ず金額を記載してください。

※水色の欄には計算式が設定されていますので入力しないでください。

※欄が不足する場合は行を挿入してください。

#### ＜数量の記載について＞

※公演回数により増減しない費目については一式で計上してください。また一式で費目を計上した場合は公演回数欄は斜線を引いてください。(※1)

#### ＜ワークショップ指導料等について＞

※原則として、採択後の経費の増額、および減額による他の経費への流用については認めません。(※2)

#### ＜文芸費について＞

※プログラム作成費は文芸費に計上してください。(※3)

※打ち合わせ人件費は、文芸費へ計上してください。なお、内訳や想定時間数をお示ください。(※4)

#### ＜舞台費について＞

※教材用の消耗品等については、舞台費・消耗品費に計上してください。(※5)

※可能な限り道具費(機材)使用料と人件費を分けてください。(※6)

※計上単位は一式とせず、1公演分あたりに割り戻した金額を記載してください。

ただし、何回公演であっても同一の総額で対応していただける経費についてはこの限りではありません。(※7)

※移動・運搬に係る経費については、採択後別途「派遣費」としてお見積りいただきます。

移動運搬に係る経費は含めずに計上してください。

#### ＜ワークショップ指導料について＞

※E区分へ応募する場合は、(E区分)ワークショップ指導料等の項目へまとめてください。(※8)

#### ＜ユニバーサル対応等に係る経費について＞

※上記の費目に区分することができない経費で、企画の特殊性により生じる経費について記載してください。(※9)

どの学校で実施するにあたっても必要な経費は、上の10公演を行った場合を想定した表に計上し、学校や対象の生徒の状況により別途必要となる可能性のある経費については、「ユニバーサル対応等に係る経費」に計上してください。

「ユニバーサル対応等に係る経費」を計上する場合は、どのようなケースにおいてどのような単位で必要になる経費なのかを明確にお示ください。

計上の可否については審査により判断しますので、結果通知後に、別途お知らせします。